

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ダブリンシティ大学 短期語学研修(3 週間)
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	25,494 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9,440 円	eSIM 代
現地通学費	15,219 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	17,189 円	旅行
被服費	0 円	
雑費	27,792 円	お土産など
その他	791,460 円	例: パスポート代、航空券代、海外保険、プログラム費用
合計	886,594 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法: カードのみ
 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 カード決済のみで十分だと思う。アイルランドはキャッシュレス決済が主流であるため、現金はなくても大丈夫。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 自分は eSIM を利用していたため、トリファというアプリを使った。オンラインで簡単に利用できるためおススメ。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 日本の風邪薬、マスク、ティッシュ
 不運にも、現地で風邪を引いてしまったため、現地で薬を調達するより使い慣れた日本の風邪薬や、マスクを用意すべきだったと思う。また、自分だけかもしれないが、ホームステイ先にティッシュがなかったため、日本から用意しておいてよかったと感じた。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 留学エージェントの方)
 特記事項: 風邪を引いた

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
 狭い路地などは治安が悪かったのでできるだけ通らないようにしていた。また、貴重品はできるだけ手元から離さないようにした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 特に問題はなかった

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) アイルランドでのホームステイでは、洗濯が週 1 回、シャワーが 10 分のみなどの制限が一般的らしいが、自分の滞在先では特に厳しいルールはなかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 良かった点 どんな質問に対しても質問者が理解できるまで教えてくれる。日常会話で役立つフレーズを毎回の授業で教え、それを実際にアウトプットする機会(実際にペアになって話す)を与えてくれる。 良くなかった点 日本人があまりにも多かったため、日本で授業を受けている感覚に近かった。事前にクラス分けテストがあったが文法・読解・英作文の問題しか問われず、リスニング、スピーキングに関しての問題がなかったため、自分の能力以上のクラスに配属される。
2)課外プログラムについて 参加する人がほとんど日本人であり参加が任意で、参加する価値はあまりないと思ったため参加しなかった。また、別途追加料金が発生する。
3)現地での生活に関すること 日本と同等かそれ以上に治安が良いと感じた。実際、中心部にはホームレスやお金を要求してくる人たちがいるが、しつこく関わってくるわけではない。また、日照時間が日本に比べて長いので、日本の 17, 18 時の暗さがアイルランドだと 21 時の暗さに相当する。そのため、夜になっても比較的明るく、安心して過ごせると感じた。また、日本と異なり、公共交通機関が時間通りに運行されないことがあり、バスの遅延などがたびたび発生する。そのため、30 分程度余裕を持って行動することを意識するべきだと思う。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 同じプログラムの日本人以外の留学生との交流はあったが、現地学生との交流はなかった。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 パブやクラブで現地の方と交流した。また、アイルランドでワーキングホリデー中の友達がいるので、その友達にサッカーなど誘ってもらい現地の人とスポーツを通じて交流を深めた。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 アイルランドでは 24 時間バスが運行しており、多くの人がバスなどの公共交通機関を利用している。現地では、バスを降りる際に「Thank you」といったお礼の言葉を口にする人が多く、このような習慣に日本との違いを感じた。また、前述したとおり、アイルランドでは日照時間が非常に長いので、日本と同じ時間感覚で生活していると不思議な感覚を覚えることがあった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今回の短期語学留学を通して、英語力だけでなく、異文化を実際に体験することの大切さを学んだ。留学前は、現地で生活することで英語を話す機会が増え、自然と英語力が身につくと考えていた。しかし、実際には日本人が多く、日本語を使ってしまう環境もあり、自分から積極的に英語を使わなければ、英語を話す機会を失ってしまうことが分かった。また、現地の人と交流する機会があっても、ある程度英語で日常会話ができれば、思うようにコミュニケーションを取ることが難しく、自信を失って日本人同士で話してしまうこともある。そのため、これから留学をする方、留学を考えている方は、留学前からある程度英語を話せるように勉強し、現地では積極的に英語を使うことを勧めたい。一方で、短期間で英語力を大きく伸ばすことはできなかったものの、アイルランドの文化や生活を実際に体験し、日本では当たり前だと思っていたことが海外では当たり前ではないことに気づくことができた。また、海外には日本が好きで、日本に興味を持っている人が多いことも知った。今回の留学を通して、改めて日本の良さを実感するとともに、将来は海外の人に日本の魅力を伝えられるになりたいと思った。今後の学生生活では、今回の経験を生かして英語の学習を続けるとともに、異文化に触れる機会を積極的に作っていききたい。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ダブリンシティ大学付属語学学校 General English【WISH】
-----	---------------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 44000 円	日本円に換算するとかなり物価の違いを感じた
図書費・学用品費	0 円	追加で購入したものはなかった
携帯・インターネット費	13278 円	world eSIM を使った
現地通学費	約 12000 円	(研修先まで 50 分) student leap card なら半額でバスや dart にのれる
教養娯楽費	約 30000 円	DCU の主催するツアーや観光など
被服費	約 10000 円	洗濯が 1 週間に一回なので買い足した
雑費	約 10000 円	シャンプーやボディソープなどの日用品
その他	約 20000 円	例: お土産など
合計	約 148278 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で両替した
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
念のため現金をもっていったが現金を使う場面は存在しなかった。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
World eSIM を用意した。無制限プランにしたが学校、ステイ先で Wi-Fi を使えるので無制限にする必要はなかった。スマホは不便なく使うことが出来た。電話番号付きの world eSIM にしたのでキャッシュパスポートの電話番号登録を world eSIM のものにしないと SMS が送られてこなくキャッシュパスポートが使えない時があった。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
雨が多いのでレインコートがあってもよかったかと思う。あとは不便なく生活できた。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 先生)
特記事項: たまに差別はされた。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
スマホはカバンと繋ぎ、pickpocket 対策をした。情報は先生から教えてもらった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
不便なくインターネットを使うことができた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態 ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分 ☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

1 週間分の下着を持って行ったが洗濯の日がずれて足りなくなり現地で買い足したので8 から 9 日分あると安心
ステイ先でそれぞれのルールがあるので日本の常識が常識じゃないこともある。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

先生がとても楽しい授業を行なってくれて充実した 3 週間を過ごせた。アイルランドの歴史なども知ることができた。また、ディスカッションがメインであったので英語を話す機会が多くとてもよかった。留学時期が日本人の多い時期であったため少し時期をずらせばもっと国際交流ができたかと思った。

2)課外プログラムについて

DCU がツアーを主催してくれ、ガイドもいるので色々話を聞き、楽しく学ぶことができた。お金がかかるものもあるので自分でダブリンを回る方が安く自由に観光することができる場合もある。

3)現地での生活に関すること

揉め事に巻き込まれないように都市部ではお金をねだってくる人や見た目の悪そうな人が話しかけてきた時は無視か sorry といひ立ち去るのがよい。アイルランドの人は比較的親切な人も多いので心配しすぎる必要はないと思う。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

現地学生との交流はあまりなかった。授業内で国際交流をすることができた。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

プログラム外では公園やツアー、図書館などで出会った人と積極的に話すことが大切であると思う。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

日本人より楽しく話してくれるので生活が楽しかった。歴史や自然が素晴らしいので週末に少し遠出をすることもとてもいい経験になると思う。曖昧な返事をせず、yes no ははっきりさせ、自分の意見を持つことが大切であると感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今まで海外で 3 週間という期間過ごしたことがなく、また、さまざまな国の人と国際交流をすることができ、とても特別な経験となりました。研修を通して自分の実力を知ることができ、さらに英語の勉強を頑張り世界で通用するような英語能力をつけたいと思いました。自分の意見を相手に伝えることの大切さも改めて実感することができました。今までの常識をすて、異なる国で適応し、新たな価値観を得ることのできる素晴らしい機会であるので迷ったら海外留学に挑戦してみることで今後の人生を豊かにすることができると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ダブリンシティ大学 2026 夏期短期留学
-----	-----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	特になし
図書費・学用品費	1000 円	特になし
携帯・インターネット費	5000 円	特になし
現地通学費	1000 円	(研修先まで徒歩 25 分)
教養娯楽費	60000 円	特になし
被服費	10000 円	特になし
雑費	3000 円	特になし
その他	0 円	例: なし
合計	130000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 祖父が過去にヨーロッパに行った際に、余ったもの。 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください クレジットカードが便利だった。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 Airlo という eSIM を利用した。残りのギガが使用中にアプリで確認できてとても良かった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか ウェットティッシュを持って行って助かりました。衛生的に気になる時にサッと使えるのが良かったです。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 現地の危険情報は、大学側から初日に説明された。巻き込まれたことはない。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 とてもスムーズに接続できたと思う。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分 ☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) ルールが家庭によって大きく変わるので、ホストファミリーとよく確認することが大切だと思います。解らないことがあったら自分で勝手にやるのではなく、わからないことを正直に伝えることで、お互いのトラブルを防ぐことができると思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 良かった点は、アイルランドというそうそう行く機会のない土地で生活することができたこと。良くなかった点は大学に日本人がたくさんいた点。
2)課外プログラムについて アクティビティは、5eからのものが多いです。自力でも簡単にいけるところが多く、参加者も日本人が多いためあまりお勧めしません。
3)現地での生活に関すること 基本的に時間にしっかりした人が多いため、バスは予定時刻よりも早く発車することがあるため注意が必要です。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 特になし
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 特になし

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 特に印象に残ったのは、日本とは異なる人との距離の近さと、街の雰囲気です。現地では、店員の方やバスの運転手の方が気軽に声をかけてくれたり、ちょっとした会話を楽しんだりする場面が多くありました。最初は英語で話しかけられることに緊張しましたが、簡単な会話でも笑顔で返してもらえることが嬉しく、積極的に話してみようと思えるようになりました。また、ダブリンの街を歩いていると、歴史的な建物と現代的な店舗が混在しており、日本とは違った街並みを見ることができました。特にトリニティ・カレッジやテンブルパー周辺を訪れた際には、街全体に歴史や文化が根付いていると感じました。さらに、店員の方との会話や現地での買い物、公共交通機関の利用など、日常生活の一つ一つが英語を実際に使う機会になりました。日本では当たり前だと思っていたことも、海外で生活することで違った見方ができるようになり、文化や価値観の違いを身近に感じる貴重な経験となりました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

研修を通して、英語を学ぶだけでなく、実際に海外で生活することで、自分から行動することの大切さを学びました。最初は英語での会話に緊張することもありましたが、間違いを恐れずに話してみることで、少しずつ積極的にコミュニケーションを取れるようになりました。また、日本とは異なる文化や生活習慣に触れたことで、自分の当たり前を見直すきっかけにもなりました。また、今回の留学では、授業以外の時間にも積極的に街を歩いたり、現地の文化に触れたりすることで、教室だけでは得られない学びがたくさんありました。特に、分からないことがあっても自分で調べたり、周囲の人に聞いたりすることで解決する経験を重ねたことで、自分から行動する力が身についたと感じています。今後の学生生活でも、今回の経験を生かして、英語の学習を継続するとともに、興味を持ったことには積極的に挑戦したいです。留学中に感じた楽しさや大変さも含めて、すべての経験を今後の成長につなげていきたいです。これから留学する後輩のみなさんには、完璧な英語を話そうとしすぎず、間違いを恐れずに現地の人と積極的に話してみることをおすすめします。授業だけでなく、買い物や観光、現地での生活など、身近な場面にも英語を使う機会はたくさんあります。ぜひ自分から一歩踏み出して、現地でしかできない経験を大切にしてほしいと思います。
